



第51回全国研究協議会神奈川大会を終えて

全国特別支援学級設置学校長協会

会長 阿部謙策



平成26年度全国特別支援学級設置学校長協会、第51回全国研究協議会神奈川大会が8月7、8日に実施され、無事終了しました。今回の大会のテーマ「共生社会の形成に向けて、一人ひとりの教育的ニーズに応え、豊かに生きる力をはぐくむ 特別支援教育の推進と充実」に沿った研修内容が展開され、熱のこもった充実した研究協議会になりました。大会の開催にあたり、特段のご配慮をいただきました神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会をはじめとして、多くの関係諸団体に深く感謝いたします。

また、本大会の準備を進めていただいた、神奈川大会実行委員長齋藤肇様をはじめ、神奈川県特別支援学級設置学校長協議会及び、横浜市立小・中学校特別支援学級設置学校長協会の皆様方のご尽力に対し、会を代表して心よりお礼申し上げます。

さて、8月7日には、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長補佐：尾白泰次様より長時間にわたり詳しく、現在文部科学省が取り組んでいる特別支援教育行政の現状と課題についての説明をしていただきました。その中で、先に批准されました障害者の権利に関する条約を受けての対応や、26年度に文科省として取り組んでいる事業の概要、今後の特別支援教育に関わる動向などを、分かりやすく説明して頂きました。

また、その後の講演会では、前玉川大学院教授、阿久澤栄先生より「特別支援教育から支援教育へ ～共生社会に向けた、特別支援教育の役割～」と題して、長く神奈川県の教育行政をリードしてきた経験を生かし、気さくなお人柄とウィットに富んだ話しぶりで、支援を必要としているすべての子供たちへの対応について貴重なお話を聞くことができました。翌8月8日は、3つの会場に分かれ、「校内の特別支援教育の充実」「他校種、関係機関との連携」「教職員の特別支援教育実践力」のテーマに沿った分科会が設定され、神奈川県及び関東ブロックの各県から6つの実践報告がなされました。それぞれの提案を受け、昨年、青森大会同様に、小グループ討議という参加者による話し合いを取り入れ、発表し合うことで論議を深めることができました。

全体講評では、国立特別支援教育総合研究所小林倫代先生より、分科会報告内容について丁寧にご講評をしていただき、私たち設置校の校長に示唆を与えていただけました。

結びになりますが、第51回全国研究協議会神奈川大会の成果が各校の課題解決の糸口となるとともに、都道府県各地域の今後の特別支援教育の充実と発展へと積み上げられることを祈念いたします。これからも本協会の活動に対しまして、ご理解とご協力をよろしく願います。

第51回 全国研究協議会 神奈川大会

実行委員長 齋藤 肇



平成26年度全国特別支援学級設置学校長協会 第51回全国研究協議会神奈川大会は、平成26年8月7日（木）8日（金）に、横浜市の横浜関内ホールを中心に他二会場で開催いたしました。

大会主題を「共生社会の形成に向けて、一人ひとりの教育的ニーズに応え、豊かに生きる力をはぐくむ 特別支援教育の推進と充実」とし、講演と分科会提案を主にグループ協議を取り入れながら運営しました。神奈川県には、1200校を超える特別支援学級設置学校があり、県内各地域から大会運営に関わる実行委員を中心に大会を成功させようと準備を進め、100人を超える大会役員とともに運営を行いました。

大会には、全国各地より690人の参加者を迎え、各会場で熱心な研究協議が行われました。無事に神奈川大会を終えることができたのは、阿部謙策会長様をはじめとする本部役員の皆様、全国理事及び全国各地からご参会いただいた校長先生方、そしてご支援ご協力をいただいた関係各位のおかげと心より感謝申し上げます。

以下、大会の概要について報告いたします。

【1日目 8月7日（木）】

〈行政説明〉 「特別支援教育行政の現状と課題」

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長補佐 尾白 泰次 様

- 1 特別支援教育の現状
- 2 障害者の権利に関する条約への対応
- 3 平成26年度特別支援教育関係予算等
- 4 特別支援教育に関わる最近の動向

〈講演〉 「特別支援教育から支援教育へ ～共生社会に向けた、特別支援教育の役割～」

前 玉川大学大学院教授 阿久澤 栄 様

初めに、共生社会に向けた二つの大きな流れについてのお話をいただき、現在の就学相談や就学先決定のあり方について、また、障害のある子供が十分に教育を受けられるための合理的配慮および基礎と

なる環境整備にも触れてお話をいただきました。そして、多様な学びの場の整備と学校間連携等の推移、特別支援教育を充実させるための教職員の専門性向上について、教育のユニバーサルデザイン化、校長の役割等について具体的な事例を挙げてのお話。

校長は教師とともに子供たちへの教育活動を率先垂範することが大切であり、すべての子供たち一人ひとりを大切にする教育活動の実践を進めることがインクルーシブな学校づくりにつながっていくのではないかというご示唆をいただきました

【2日目 8月8日（金）】

〈実践報告・研究協議〉

第1分科会 「共生社会の形成に向けた校内特別支援教育の充実」

実践報告①「ともに学びあう校内特別支援教育の推進と充実に向けて

～児童一人ひとりのニーズに応じた学習支援の在り方～

(神奈川県横浜市立洋光台第一小学校 青木 圭介校長)

実践報告②「『支援籍』による学習の充実とユニバーサルデザインの視点を生かした学校経営」

(埼玉県比企郡滑川町立宮前小学校 鈴木 克俊 校長)

「支援を必要としているのは、すべての子」という共通理解を全教職員がもち、支援内容の充実を図り、重層的な支援体制づくりを進めることが重要であるという提案と、ノーマライゼーションの理念に基づく教育の中核となる支援籍を軸に学校経営を進めていくことが大切であるという提案に、多くの参加者からの意見が出されました。

第2分科会 「特別支援教育を推進・充実するための地域や他校種、関係機関との連携」

実践報告③「つなぐ指導、広がる支援 ～個のニーズに寄り添った学びの保障～」

(神奈川県横須賀市立荻野小学校 下川 紀子 校長)

実践報告④「全ての教育活動を貫く理念とする特別支援教育

～困り感に気づき 頑張りを認め 支援を繋げる体制作り～

(千葉県君津市立秋元小学校 高浦 明弘 校長)

市教委の施策からのファイルシートの活用や多様な支援職員や相談チームの活用、コーディネーターを中心とした校内体制の整備と市学習機会を通しての指導の改善・工夫について自分の学校の在り方と比べながら意見交換がされました。

第3分科会 「教職員の特別支援教育実践力の向上に向けた校長の取組」

実践報告⑤「OJTによるスキルアップをめざして」

(神奈川県相模原市立若草小学校 大里 朝彦 校長)

実践報告⑥「通常学級における特別支援教育の充実

～インクルーシブ教育システム構築事業の調査研究を通して～

(茨城県守谷市立御所ヶ丘中学校 大谷 尚之 校長)

学校経営理念に支援教育を位置づけ一人一人を大切にする意識の広がり具体的な実践の展開。幼保小中高一貫教育の取組の中で、校区内のケース会議や学校支援、特別支援学校のセンター的機能の活用を通しての校長のリーダーシップによる支援体制の継続の大切さについての提案に、グループ協議では活発な意見が飛び交いました。

〈全体会・全体講評〉

各分科会記録者よりそれぞれの分科会の協議内容について報告があった後に、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 教育研修・事業部長兼教育情報部長 上席統括研究員 小林倫代様から特別支援学級の今後に向けて教育課程に関する調査研究の結果報告と全体講評をいただき、最後に閉会行事を行い全日程が終了いたしました。

詳細につきましては、平成27年3月発行予定の全特協平成26年度研究紀要に掲載予定

平成26年度 全国特別支援学級設置学校長協会秋季研究協議会
第31回 関東甲信越地区研究協議会 栃木大会

- 1 テーマ 「学校における一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」
～共生社会の形成に向けた特別支援教育のさらなる充実～
- 2 期 日 平成26年11月14日（金）10：30～16：00
- 3 会 場 栃木県教育会館大ホール 〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1-6
TEL 028-621-7177 Fax 028-621-0761

4 日 程

- (1) 開会行事 10：30～11：10
主催者挨拶，来賓祝辞
- (2) 研修Ⅰ・Ⅱ 11：10～12：30 13：30～14：30
実践発表(1) 「一人一人のニーズに応じた支援体制の充実」
栃木県矢板市立矢板小学校 加藤 泰明 校長
実践発表(2) 「通常の学級における特別支援教育の充実」
栃木県宇都宮市立細谷小学校 条川 佳寿子 校長
実践発表(3) 「地域の特性を活かした特別支援教育の推進」
栃木県宇都宮市立晃陽中学校 湯沢 一郎 校長
講 評 宇都宮市教育センター学校生活適応支援相談員 戸崎 克美 様
- (3) 研修Ⅲ 14：45～15：50
記念講演 「学校における一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」
～インクルーシブな教育体制に向けて～
講師 宇都宮大学教育学部 教授 池本 喜代正 様
- (4) 閉会行事 15：50～16：00
主催者挨拶，次期開催地区代表挨拶（埼玉県）

☆ 参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

関東甲信越地区研究協議会栃木大会実行委員会事務局 宇都宮市立戸祭小学校校長 上澤久子
〒320-0056 栃木県宇都宮市戸祭1-10-25 TEL 028-622-6244

第3回全国理事研究・研修協議会のご案内

- ・期 日 平成27年1月29日（木）・30日（金）
- ・会 場 京都府京都市 ルビノ京都堀川（京都市上京区東堀川通下長者町）
- ・内 容 [1日目]
全国副会長会 全国理事会 行政説明 研究協議会 ブロック会議
顧問参与の会 懇談会
- [2日目]
教育機関研修 視察（京都府立宇治支援学校、源氏物語ミュージアム）
- ☆ 本年度最後の「全国理事研究・研修協議会」となります。ご参加をお願いします。
東京での定期総会および神奈川県での全国研究大会に多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。